

平成29年度新規施策

- 摂食嚥下支援事業
- テンミリオンハウス「ふらっと・きたまち」の開設
- 特別養護老人ホーム「とらいふ武蔵野」の開設

高齢者がいつまでも安全に食べられることを支援する『高齢者の摂食嚥下支援』の体制を強化する。

【実施内容】

- 平成29年度は、市内特別養護老人ホームにおいて実施。
- 毎月、歯科医師と歯科衛生士が、入所者の摂食嚥下機能の評価と、介護職や看護職、栄養士等とのカンファレンスにて支援方針の共有化を行い、一人ひとりに合った食形態や介助方法の工夫を行うことによって、いつまでも自分の口から安全に食べられることを支援する。



【実施効果と今後の展開】

- この取組みにより、歯科医師会において摂食嚥下機能評価のスキルやノウハウを有する歯科医師等を育成。今後、デイサービス利用者等在宅で生活する高齢者への支援に拡大。同時に、介護職員等、多職種での情報共有のための連携ツールを整備。
- 在宅医療・介護に携わるケアマネジャーや訪問介護、訪問看護、デイサービス職員、医師等に、摂食嚥下支援の必要性に関する普及啓発や情報提供等を行うことで、在宅での支援体制の整備を進める。在宅医療・介護連携推進協議会で検討。
- 家族等市民への普及啓発。



いつまでもいきいきと健康に テンミリオンハウス

「近・小・軽」

リバースモーゲージによる遺贈物件・空き家・市有施設などを活用し、NP
Oや住民組織等が運営。市が年間1000万円を限度として補助。

⑧ふらっと・きたまち

吉祥寺北町5-7-9



運営 大野田地域福祉活動推進協議会
(通称：大野田福祉の会)

特徴 運営団体は、市内に13ある地域社協の一つで、地域社協としては初めてテンミリオンハウスの運営に取り組んでいます。長年地域で実践してきた福祉活動の経験を活かし、だれもが気軽に立ち寄れる場所づくりを目指します。

開所 火～土曜・午前10時～午後4時（祝日除く）

料金 利用料無料、プログラム代実費
昼食代 400円



施設名	住所
① 川路さんち	西久保1-34-2
② 月見路	吉祥寺北町1-11-7
③ 関三倶楽部	関前3-37-24(1階)
④ そ~らの家	吉祥寺南町5-6-16
⑤ きんもくせい	境4-10-4
⑥ 花時計	境南町2-25-3
⑦ くるみの木	中町3-25-17

武蔵野市ならではの住まいを支える 施設サービスの充実

市内7か所目

住まいとしての特別養護老人ホームの整備

特別養護老人ホーム とらいふ武蔵野

関前1-2-20
0422-38-5221



平成29年5月開設(特養)

- 運営** 社会福祉法人とらいふ
事業 ◇ユニット型特別養護老人ホーム
(定員70名)
◇ショートステイ(定員10名)
◇デイサービスセンター
(一般20名・介護予防10名/日)
◇地域型事業所内保育所ベリールーム
(0~2歳児 定員10名)

- 特徴** ①市内初の保育所を併設した特別養護老人ホーム
②地域包括ケア推進に向けた複合型サービス拠点
③地域交流スペースを設置し、施設と地域をつなぐコミュニティづくりの場を提供
④災害時における福祉避難所としての機能を担う